



採用された。車種専用設計である強みと、豊富なリム幅の選択肢を犠牲にすることなく、カスタムを自由に楽しむことができる。

バサラカットの輝きがより一層際立つのはスーパークロームメッキと呼ばれる3Dクロームメッキ処理を施したカラーだ。天面部分だけでなく、スポークサイド面も含めてディスク前面にバフ処理を入れ、深みを持たせたクロームメッキが施される。だからこそ、オープンメッシュデザインと大口径化が可能なリアスポーク間のスペースを最大限に活かしつつ、どの角度から見ても美しく、どこか余裕を感じさせる力強さをにじませている。ブラッシュドカラーや



ブラックアルマイトといった他のカラーにもバサラカットが与える質感は異なる。繊細さの宿る美しさや、マットでより硬派な仕上がりなど、好みに応じて選べるのがいい。表面がキメ細かな鍛造素材だからこそ表現できる。

Rowenが手がけたLX600には「LS VAJRA SUV」の世界観が凝縮されていた。Rowenのプレミアムブランド「ワールドプラチナム」のボディキットを装着したLX600は、純正モデルよりさらに「向かうところ敵なし」といったオーラを醸し出している。そこに24インチもの大口径のスポークと深いリム、そして決してキラキラとはなく艶めくシルバーに輝く足元が調和して、唯一無二の存在感を放つLX600があった。孤高の武器を身にまとい、堂々と走っていく勇者が見えたように思えた。

孤高の武器

このホイールは「LS VAJRA (バサラ) SUV」と名付けられた。バサラはサン스크リット語でダイヤモンドを意味する。迫力満点のフルリバー構造大口径ホイールにバサラカットが施され、全方位にダイヤモンドのような輝きを持たせている。この輝きは、カットだけではなくディスク素材にも大きく依存している。鍛造ビレットディスクを削り出してつくられること無くしては、この輝

きは生まれない。さらに鍛造ビレットを用いることは、ホイールが均一な強度と剛性を持つことを意味する。鍛造ビレットを鍛造で成形すると、加工される部分によってはどうしても金属組織的にみて強度が弱い部分が出てくる可能性が高い。それに対して鍛造ビレットは強度にバラつきがなく、LXなどの大重量ボディを支えながら時には悪路を走破するホイールの素材としては申し分ない。まさに素材からしてもダイヤモンドのようだ。

初めのダブルデザインでさらにパワーアップした。オープンメッシュのオーバーデザインとサイドスポークが12交点メッシュへと変化するアンダーデザインとの組み合わせが、奥行きのある立体感を生み出し、がっしりと受け止めてくれるような安心感を醸し出す。見た目の強さだけでなく、オーバーデザインとアンダーデザインのスポーク天面に高低差をつけることで実際に剛性を強めている。さらにはマルチピースホイールの匠であるワークならではのホイールとして、ハイインセットにしたときにディスク突出が起きないように、リム

写真右)サイズは写真下もともに24×10.0Jという設定。サイズに加えてカラーやフィニッシュにも豊富な選択肢があることはワークの魅力のひとつ。写真下)ブラッシュドというカラーもよく似合う。スーパークロームメッキと比較して光沢感が抑えられている分、スポークデザインならではの繊細さを感じられる。



タフロードウォーリアーを支える

最近流行しているオンラインゲームのスペシャルアイテムに「ダイヤモンドの剣」というのがあるらしい。ダイヤモンドは金属の中で最も硬くて強い素材だということに加えて、鉱石がダイヤモンドと名付けられた由来自体に「征服される」とか「無敵の」という意味があるそうだから、最強の武器であることは想像に容易い。宝石としても価値の高い最高級品とされ、永遠の輝きは人々を魅了し続けている。「ダイヤモンドの剣」とも呼べる新しいホイールがワークから誕生した。それは新型レクサスLXやランドクルーザー専用設計されている。最上級ラグジュアリーカーでありながら、悪路とも闘う使命を持つクルマにまさに

WORK LS VAJRA SUV × Rowen LEXUS LX600



←装着タイヤはNITTO NT420V。サイズは前後ともに295/35R24。オーバーフェンダーが付いていてもそこに美しいマッチングが実現可能になるのは、サイズ設定を細かくオーダーできるマルチピースの強みだ。

PRICE LIST	
22インチ (8.0J~11.5J)	21万8900円~
24インチ (8.5J~12.0J)	25万6300円~